

市政の展開について



佐々木 讓 議員

【質問】 合併後の事務事業の調整状況は。

〔市長〕 148のまちづくり指標を設定し、18年度の達成状況は118指標、83%の概ね目標達成となり、市民協働のまちづくりが着実に推進された。事務事業の調整状況は、119事業中97事務事業の82%の調整を完了した。残り22事務事業についても、

平成21年度までに完了する予定になっている。

【質問】 介護保険料の調整の現状と今後の見通しについて。

〔市長〕 本年度は、介護保険サービス利用者等にアンケート調査を実施した上で、20年度に第4期介護保険事業計画策定委員会を設置し、21年度から統一した介護保険料を設定する予定である。

【質問】 旧市・村の職員給与の調整の進捗状況は。

〔市長〕 平成19年度から平成21年度までの3年間で是正する計画であり、これを確実に実行する。

【質問】 仮称「市民医療相談室」の設置について。

〔市長〕 健康福祉の里にある包括支援センターは幅広く相談に応じてくれる総合窓口である。とびあ内設置については、現在設置している「市民サービスコーナー」との整合性と、必要について研究してみる。

【質問】 綾織小学校の改築計画と中学校再編計画とは、切り離して取り組まなければならないと考えるが。

〔教育長〕 平成18年度に策定した遠野市総合計画前期基本計画で、平成21・22年度に改築工事を行い、平成23年4月から供用開始する計画としている。一方、現在進めている中学校再編計画により、今後綾織中学校は再編によって統合される可能性が高い見通しを持っている。時期が同じことから綾織中学校校舎を活用したいと考える。



▲熱い論議が交わされた「仮想・と・おの市議会」

安心・安全な生活環境を



菊池 邦夫 議員

【質問】 少子化対策の基本原則である出産の環境づくりや安心してお産の出来る支援対策について、また医療機関への救急搬送体制の充実と促進策は。

〔市長〕 救急医療搬送体制と安心安全な出産環境づくりは表裏一体のものとして受けとめている。今後益々厳しくなる産科医の確保状況を見ると県

内の産科医療圏の広域化や集約化は避けられない。「遠野型助産院ネットワーク構想」を12月1日オープンに向け具現化に努めていく。

医療支援体制は広域で連携した活動が重要であり、情報を共有した中で幅広く連携体制を構築していく。

【質問】 遠野病院周辺地域の道路整備は市民からも要望があり市民生活を維持するため、そして遠野病院の充実の一環としてもぜひ整備を望むものだが。

〔市長〕 バイパスの開通によって周辺の宅地化が進み、水田の中に宅地が混在しその比率は年々高くなっている。

農地提供の理解を得ながら整備計画を検討したい。

【質問】 国や地方を通じて財政の危機的状況が指摘され「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が成立した。

民間会計では、ある年度の損益については損益計算書により把握する。事業活動の結果が資産や債務に及ぼす影響を与えるかを明らかにしているのが貸借対照表である。

当市の全体財務、公社や第三セクターを含めた連結ベースの場合はどうか。

〔市長〕 総務省は財務諸表改訂モデルを提示し、平成20年度会計から公表するよう求めている。改訂モデルや先進的取り組み事例を研修して、連結による試算を行いさらなる行財政改革により、財政健全化を図っていく。

【その他の質問】 市立中学校再編計画について



▲早期整備が望まれる遠野病院周辺道路